(第1面)

産業廃棄物処理計画書

令和5年5月31日

東京都知事 殿

提出者

住 所 東京都新宿区西新宿6-16-6

氏 名 大日本土木株式会社 東日本支社

常務執行役員 東日本支社長 小林 良一

(法人にあっては、名称及び代表者の氏名) 電話番号 03-5326-3811

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	大日本土木株式会社 東日本支社					
事業場の所在地	東京都新宿区西新宿6-16-6					
計 画 期 間	令和5年4月1日~令和6年3月31日					
当該事業場において現に行	テっている事業に関する事項					
①事業の種類	建設業					
②事業の規模	エリア内元請完成工事高 23,819百万円					
③従 業 員 数	228名					
④産業廃棄物の一連 の処理の工程	別添1 処理工程図のとおり					

(日本産業規格 A列4番)

産業	産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項								
	(管理体制図) 別添2 管理体制図の	1, +> 10							
	別称2 官理体制図の	とわり							
産業	É廃棄物の排出の抑制	こ関する事項							
		【前年度(令	·和4 年度)	実績】					
		産業廃棄物	めの種類	建設汚泥	その他の汚泥				
		排 出	量	4.68 t	9.67 t				
			こ実施したI 環境保全計		物の分別率目標値を設				
	105%	定。分別率向	上を図ると	ともに、「再生資源利	用(促進)計画」の実施				
		より建設副産	物の発生抑	制・削減と適正処理に	関する活動を実施。				
		【目標】							
		産業廃棄物	かの種類	建設汚泥	その他の汚泥				
		排 出		4.21 t	8.70 t				
	्रो स ं		する予定のI 毎に「環境		産物の分別率目標値を				
	②計画	設定。分別率	向上を図る	とともに、「再生資源	〔利用(促進)計画」の実				
		施より建設副 定。	産物の発生	:抑制・削減と適正処理	!に関する活動を実施予				
		た。							
産業	 								
産業	 	(分別してい		物の種類及び分別に関す <i>、</i> 基づき建設副産物の分別					
産業	美廃棄物の分別に関する ①現状	(分別してい 毎年度「環境(向上を図るとる	R全計画」に ともに、「再	基づき建設副産物の分別 生資源利用(促進)計画」	る取組) 率目標値を設定。分別率 の実施より建設副産物の				
産業		(分別してい 毎年度「環境(向上を図るとる	R全計画」に ともに、「再	基づき建設副産物の分別	率目標値を設定。分別率				
産業		(分別してい 毎年度「環境(向上を図るとる 発生抑制・削) (今後分別す	R全計画」に ともに、「再 或と適正処理 る予定の産	基づき建設副産物の分別 生資源利用(促進)計画」 に関する活動を実施。 業廃棄物の種類及び分別(率目標値を設定。分別率の実施より建設副産物の				
産業	①現状	(分別してい 毎年度「環境(向上を図るとる 発生抑制・削減 (今後分別す 毎年度「環境(R全計画」に ともに、「再 或と適正処理 る予定の産 R全計画」に	基づき建設副産物の分別 生資源利用(促進)計画」 に関する活動を実施。 業廃棄物の種類及び分別 基づき建設副産物の分別	率目標値を設定。分別率の実施より建設副産物の こ関する取組) 率目標値を設定。分別率				
産業		(分別してい 毎年度「環境(向上を図ると) 発生抑制・削済 (今後分別す 毎年度「環境(向上を図ると)	R全計画」に ともに、「再 或と適正処理 る予定の産業 R全計画」に ともに、「再	基づき建設副産物の分別 生資源利用(促進)計画」 に関する活動を実施。 業廃棄物の種類及び分別 基づき建設副産物の分別	率目標値を設定。分別率の実施より建設副産物の				

産業	廃棄物の)種類	廃プラスチック類	金属くず	ガラス陶磁器等くず	コンクリート
排	出	量	74.56 t	1.70 t	55.12 t	4, 149. 6
【目標】						
	廃棄物の)種類	廃プラスチック類	金属くず	ガラス陶磁器等くず	コンクリート

産業原	廃棄物の	種類	廃アスファルト	レンガ破片など	石綿含有産業廃棄物	紙くず
排	出	量	813. 47 t	1, 167. 29 t	23. 20 t	19. 65
【目標】						
	廃棄物の)種類	廃アスファルト	レンガ破片など	石綿含有産業廃棄物	紙くず
	廃棄物 の 出)種類 量	廃アスファルト 732.12 t	レンガ破片など 1,050.56 t	石綿含有産業廃棄物 20.88 t	紙くず 17.69
産業原						
産業原						

産業	廃棄物の	種類	木くず	繊維くず	建設混合廃棄物	廃蛍光ランプ
排	出	量	96.12 t	3.02 t	57. 98 t	0. 55
- I - Y						
【目標】)種類	木 くず	緋維く ず	建設混合廢棄物	露峃 半ランプ
産業	廃棄物の		木くず 86.51 t	繊維くず 2.72 t	建設混合廃棄物 52.18 t	廃蛍光ランプ ³ 0.50
)種類 量	木くず 86.51 t			廃蛍光ランプ 0.50
産業	廃棄物の					

産業	廃棄物の	4 年度) ・ ・ ・ 種類	_		_		_				-
排	出	量	_	t	_	t	_	- t	t		_
【口抽】											
【目標】 産業	廃棄物の)種類	_		_		_			-	-
	出	量	_	t	_	t	_	- t	ţ		_
排											
排											
排											

産業	廃棄物の	4 年度) ・ ・ ・ 種類	_		_		_				-
排	出	量	_	t	_	t	_	- t	t		_
【口抽】											
【目標】 産業	廃棄物の)種類	_		_		_			-	-
	出	量	_	t	_	t	_	- t	ţ		_
排											
排											
排											

自身	ら行う産業廃棄物の再 生	生利用に関する事項		
		【前年度(令和4 年度)	実績】	
		産業廃棄物の種類	建設汚泥	その他の汚泥
	①現状	自ら再生利用を行った 産業廃棄物の量	- t	- t
	少 先从	(これまでに実施した即実施していない。	反組)	
		【目標】		
		産業廃棄物の種類	建設汚泥	その他の汚泥
	@#I ##	自ら再生利用を行う 産業廃棄物の量	- t	- t
	②計画	(今後実施する予定の取実施していない。	文組)	
自身	<u>┃</u> ら行う産業廃棄物の中間	<u> </u> 間処理に関する事項		
		【前年度(令和4 年度)	実績】	
		産業廃棄物の種類	建設汚泥	その他の汚泥
		自ら熱回収を行った 産業廃棄物の量	- t	- t
	①現状	自ら中間処理により減 量した産業廃棄物の量	- t	- t
		(これまでに実施した耳 実施していない。	反組)	
		【目標】		
		産業廃棄物の種類	建設汚泥	その他の汚泥
		自ら熱回収を行う 産業廃乗物の量	- t	- t
	②計画	自ら中間処理により減 量する産業廃棄物の量	- t	- t
		(今後実施する予定の即 実施していない。	又組)	

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

【前年度(令和4 年度)実績】

産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	金属くず	ガラス陶磁器等くず	コンクリート片
自ら再生利用を行った 産業廃乗物の量	- t	- t	- t	- t

【目標】

産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	金属くず	ガラス陶磁器等くず	コンクリート片
自ら再生利用を行う 産業廃棄物の量	- t	- t	- t	- t

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

【前年度(令和4 年度)実績】

産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	金属くず	ガラス陶磁器等くず	コンクリート片
自ら熱回収を行った 産業廃乗物の量	- t	- t	- t	- t
自ら中間処理により減 量した産業廃棄物の量	- t	- t	- t	- t

【目標】

産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	金属くず	ガラス陶磁器等くず	コンクリート片
自ら熱回収を行う 産業廃乗物の量	- t	- t	- t	- t
自ら中間処理により減 量する産業廃棄物の量	- t	- t	- t	- t

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

【前年度(令和4 年度)実績】

産業廃棄物の種類	廃アスファルト	レンガ破片など	石綿含有産業廃棄物	紙くず
自ら再生利用を行った 産業廃乗物の量	- t	- t	- t	- t

【目標】

産業廃棄物の種類	廃アスファルト	レンガ破片など	石綿含有産業廃棄物	紙くず
自ら再生利用を行う 産 業 廃 棄 物 の 量	- t	- t	- t	- t

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

【前年度(令和4 年度)実績】

産業廃棄物の種類	廃アスファルト	レンガ破片など	石綿含有産業廃棄物	紙くず
自ら熱回収を行った 産業廃乗物の量	- t	- t	- t	- t
自ら中間処理により減 量した産業廃棄物の量	- t	- t	- t	- t

【目標】

産業廃棄物の種類	廃アスファルト	レンガ破片など	石綿含有産業廃棄物	紙くず
自ら熱回収を行う 産業廃乗物の量	- t	- t	- t	- t
自ら中間処理により減 量する産業廃棄物の量	- t	- t	- t	- t

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

【前年度(令和4 年度)実績】

産業廃棄物の種類	木くず	繊維くず	建設混合廃棄物	廃蛍光ランプ類
自ら再生利用を行った 産 業 廃 乗 物 の 量	- t	- t	- t	- t

【目標】

産業廃棄物の種類	木くず	繊維くず	建設混合廃棄物	廃蛍光ランプ類
自ら再生利用を行う 産 業 廃 棄 物 の 量	- t	- t	- t	- t

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

【前年度(令和4 年度)実績】

産業廃棄物の種類	木くず	繊維くず	建設混合廃棄物	廃蛍光ランプ類
自ら熱回収を行った 産業廃乗物の量	- t	- t	- t	- t
自ら中間処理により減 量した産業廃棄物の量	- t	- t	- t	- t

【目標】

産業廃棄物の種類	木くず	繊維くず	建設混合廃棄物	廃蛍光ランプ類
自ら熱回収を行う 産業廃乗物の量	- t	- t	- t	- t
自ら中間処理により減 量する産業廃棄物の量	- t	- t	- t	- t

自ら ₋			面) — 5		
	行う産業廃棄物の再生利				
	【前年度(令和4 年度)	実績】 			
	産業廃棄物の種類	-	-	-	-
	自ら再生利用を行った 産業廃棄物の量	- t	- t	- t	– t
	【目標】				
	産業廃棄物の種類	-	-	-	-
	自ら再生利用を行う 産業廃棄物の量	- t	- t	- t	- 1
	行う産業廃棄物の中間処 【前年度(令和4 年度)				
-	産業廃棄物の種類	- -	_	_	
-	自ら熱回収を行った 産業廃棄物の量	- t	- t	- t	<u> </u>
	自ら中間処理により減 量した産業廃棄物の量	- t	- t	- t	- 1
	【目標】				
	産業廃棄物の種類	-	-	-	-
f	自ら熱回収を行う 産業廃棄物の量	- t	- t	- t	- 1
	自ら中間処理により減	- t	- t	- t	- 1

	産業廃棄物の再生利		面) — 6		
	主来院来物の円生机 上度(令和4 年度)				
	業廃棄物の種類		_	_	_
自ら	再生利用を行った 業 廃 棄 物 の 量	- t	- t	- t	
		1	1	1	
【目標					
産	業廃棄物の種類	-	-	-	-
自建産業	う再生利用を行う 業 廃 棄 物 の 量	- t	- t	- t	
【前年	産業廃棄物の中間処 F度(令和4 年度)	実績】	1		
産	業廃棄物の種類	-	-	-	-
自建産業	ら熱回収を行った 業 廃 乗 物 の 量	- t	- t	- t	_
自ら 量し	中間処理により減 た産業廃棄物の量	- t	- t	- t	-
【目棋	票】				
産	業廃棄物の種類	-	-	-	-
	ら熱回収を行う 業 廃 棄 物 の 量	- t	- t	- t	_
産業		i			

百さなる玄楽成奏県	の押さ加入フは海洋机を加入に関		
目り行り産業廃棄物	の埋立処分又は海洋投入処分に関		
	【前年度(令和4 年度)等	実績】 ————————————————————————————————————	
	産業廃棄物の種類	建設汚泥	その他の汚泥
①現状	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行った 産業廃棄物の量	- t	- t
	(これまでに実施した取約 実施していない。	且)	
	【目標】		
	産業廃棄物の種類	建設汚泥	その他の汚泥
②計画	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行う 産 業 廃 乗 物 の 量	- t	- t
	(今後実施する予定の取約 実施していない。	且)	
産業廃棄物の処理の	委託に関する事項		
	【前年度(令和4 年度)等	 集績	
	産業廃棄物の種類	建設汚泥	その他の汚泥
	全処理委託量	4.68 t	9.67 t
	優良認定処理業者 への処理委託量	- t	- t
	再生利用業者への 処理委託量	4.68 t	9.67 t
①現状	認定熱回収業者 への処理委託量	- t	- t
	認定熱回収業者以外 の熱回収を行う業者 への処理委託量	- t	- t
	(これまでに実施した取終作業所毎に「環境保全計画定。分別率向上を図るととより建設副産物の発生抑制	」に基づき建設副産物 もに、「再生資源利用	(促進)計画」の実施

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

【前年度(令和4 年度)実績】

産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	金属くず	ガラス陶磁器等くず	コンクリート片
自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行った 産業廃棄物の量	- t	- t	- t	- t

【目標】

産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	金属くず	ガラス陶磁器等くず	コンクリート片
自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行う 産 業 廃 棄 物 の 量	- t	- t	- t	- t

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

【前年度(令和4 年度)実績】

産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	金属くず	ガラス陶磁器等くず	コンクリート片
全処理委託量	74.56 t	1.70 t	55.12 t	4, 149. 62 t
優良認定処理業者 への処理委託量	74.56 t	1.70 t	49.87 t	3, 470. 08 t
再生利用業者への 処理委託量	74.56 t	1.70 t	55.12 t	4, 149. 62 t
認定熱回収業者 への処理委託量	- t	- t	- t	- t
認定熱回収業者以外 の熱回収を行う業者 への処理委託量		- t	- t	- t

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

【前年度(令和4 年度)実績】

産業廃棄物の種類	廃アスファルト	レンガ破片など	石綿含有産業廃棄物	紙くず
自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行った 産業廃棄物の量	- t	- t	- t	- t

【目標】

産業廃棄物の種類	廃アスファルト	レンガ破片など	石綿含有産業廃棄物	紙くず
自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行う 産業廃棄物の量	- t	- t	- t	- t

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

【前年度(令和4 年度)実績】

Ī.	産業廃棄物の種類	廃アスファルト		レンガ破片など		石綿含有産業廃棄物	紙くず
-	全処理委託量	813. 47	t	1, 167. 29	t	23. 20 t	19.65 t
	優良認定処理業者 への処理委託量	459.07	t	1, 054. 94	t	23.20 t	19.65 t
	再生利用業者への 処理委託量	813. 47	t	1, 167. 29	t	- t	19.65 t
	認定熱回収業者 への処理委託量	-	t	-	t	- t	- t
	認定熱回収業者以外 の熱回収を行う業者 への処理委託量		t	-	t	- t	- t

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

【前年度(令和4 年度)実績】

産業廃棄物の種類	木くず	繊維くず	建設混合廃棄物	廃蛍光ランプ類
自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行った 産業廃乗物の量	- t	- t	- t	- t

【目標】

産業廃棄物の種類	木くず	繊維くず	建設混合廃棄物	廃蛍光ランプ類
自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行う 産 業 廃 棄 物 の 量	- t	- t	- t	- t

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

【前年度(令和4 年度)実績】

産業廃棄物の種類	木くず	繊維くず	建設混合廃棄物	廃蛍光ランプ類
全処理委託量	96.12 t	3.02 t	57.98 t	0.55 t
優良認定処理業者 への処理委託量	96.12 t	3.02 t	57.98 t	0.55 t
再生利用業者への 処理委託量	96. 12 t	3.02 t	57.98 t	0.55 t
認定熱回収業者 への処理委託量	- t	- t	- t	- t
認定熱回収業者以外 の熱回収を行う業者 への処理委託量		- t	- t	- t

産業廃棄物の種類	実績】 -	_	_	-
自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行った 産業廃棄物の量	- t	- t	- t	-
「□ +## \				
【目標】 産業廃棄物の種類	_	_	_	_
自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行う 産業廃棄物の量	- t	- t	- t	-
【前年度(令和4 年度)		_	_	_
廃棄物の処理の委託に関す 【前年度(令和4 年度) 産業廃棄物の種類 全処理委託量	実績】	- - t	- - t	
【前年度(令和4 年度) 産業廃棄物の種類	実績 】 -		- t - t	
【前年度(令和4 年度) 産業廃棄物の種類 全処理委託量 優良認定処理業者	実績】 - - t	- t		- - -
【前年度(令和4 年度) 産業廃棄物の種類 全処理委託量 優良認定処理業者 への処理委託量 再生利用業者への	実績】 - t - t	- t	- t	- - - -
【前年度(令和4 年度) 産業廃棄物の種類 全処理委託量 優良認定処理業者 への処理委託量 再生利用業者への 処理委託量 認定熱回収業者	実績】 - t - t - t	- t - t	- t	- - -

産業廃棄物の種類	実績 】 -	_	-	-
自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行った 産業廃棄物の量	- t	- t	- t	-
【目標】 産業廃棄物の種類	_	_	_	_
自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行う 産業廃棄物の量	- t	- t	- t	-
【前年度(令和4 年度)			_	_
	実績】	- - t	- - t	
【前年度(令和4 年度) 産業廃棄物の種類	実績】 -		- t - t	
【前年度(令和4 年度) 産業廃棄物の種類 全処理委託量 優良認定処理業者	実績】 - - t	- t		- - -
【前年度(令和4年度) 産業廃棄物の種類 全処理委託量 優良認定処理業者 への処理委託量 再生利用業者への	実績】 - t - t	- t	- t	- - - -
産業廃棄物の種類 全 処 理 委 託 量 優良認定処理業者 への処理委託量 再生利用業者への 処 理 委 託 量 認定熱回収業者	実績】 - t - t - t	- t - t	- t	- - -

		(男 5 匪	1)	
		【目標】		
		産業廃棄物の種類	建設汚泥	その他の汚泥
		全処理委託量	4.21 t	8.70 t
		優良認定処理業者 への処理委託量	- t	- t
		再生利用業者への 処理委託量	4.21 t	8.70 t
		認定熱回収業者 への処理委託量	- t	- t
	②計画	認定熱回収業者以外 の熱回収を行う業者 への処理委託量	- t	- t
		(今後実施する予定の取 今後も作業所毎に「環境 値を設定。分別率向上を の実施より建設副産物の 施予定。 また、可能な限り再生利 減を図る。	保全計画」に基づき類図るとともに、「再生発生抑制・削減と適正	E資源利用(促進)計画」 E処理に関する活動を実
※事	務処理欄			

【目標】				
産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	金属くず	ガラス陶磁器等くず	コンクリート片
全処理委託量	67.10 t	1.53 t	49.61 t	3,734.66 t
優良認定処理業者 への処理委託量	67.10 t	1.53 t	44.88 t	3, 123. 07 t
再生利用業者への 処理委託量	67.10 t	1.53 t	49.61 t	3, 734. 66 t
認定熱回収業者 への処理委託量	- t	- t	- t	- t
認定熱回収業者以外 の熱回収を行う業者 への処理委託量		- t	- t	- t

【目標】				
産業廃棄物の種類	廃アスファルト	レンガ破片など	石綿含有産業廃棄物	紙くず
全処理委託量	732. 12 t	1,050.56 t	20.88 t	17.69 t
優良認定処理業者 への処理委託量	413.16 t	949.45 t	20.88 t	17.69 t
再生利用業者への 処理委託量	732. 12 t	1,050.56 t	- t	17.69 t
認定熱回収業者 への処理委託量	- t	- t	- t	- t
認定熱回収業者以外 の熱回収を行う業者 への処理委託量		- t	- t	- t

(第5面)-4

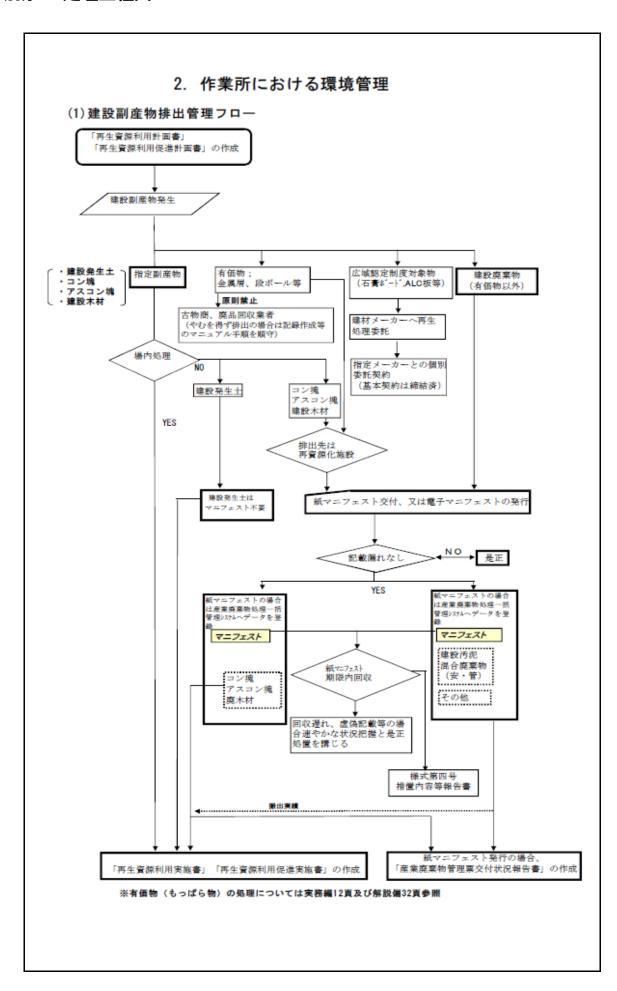
【目標】				
産業廃棄物の種類	木くず	繊維くず	建設混合廃棄物	廃蛍光ランプ類
全処理委託量	86.51 t	2.72 t	52. 18 t	0.50 t
優良認定処理業者 への処理委託量	86.51 t	2.72 t	52.18 t	0.50 t
再生利用業者への 処理委託量	86.51 t	2.72 t	52.18 t	0.50 t
認定熱回収業者 への処理委託量	- t	- t	- t	- t
認定熱回収業者以外 の熱回収を行う業者 への処理委託量		- t	- t	- t

産業廃棄物の種類	_		_		_		-	_	
全処理委託量	_	t	-	t	-	t		_	
優良認定処理業者 への処理委託量	_	t	_	t	-	t		-	
再生利用業者への 処理委託量	-	t	I	t	I	t		-	
認定熱回収業者 への処理委託量	_	t	1	t	Ţ	t		_	
認定熱回収業者以外 の熱回収を行う業者 への処理委託量	_	t	-	t	-	t		_	

【目標】								
産業廃棄物の種類		-		-		-	-	
全処理委託量		-	t	_	t	- t	-	
優良認定処理業者 への処理委託量		-	t	-	t	- t		
再生利用業者への 処理委託量		-	t	-	t	- t	-	
認定熱回収業者 への処理委託量		_	t	-	t	- t	_	
認定熱回収業者以外 の熱回収を行う業者 への処理委託量		_	t	-	t	- t	-	

備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
 - (1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
 - (2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額(前年度実績)、建設業の場合における元請完成 工事高(前年度実績)、医療機関の場合における病床数(前年度末時点)等の業種に応じ事業規 模が分かるような前年度の実績を記入すること。
 - (3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまで の一連の処理の工程(当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。)を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者(廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者)への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者(廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者)である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「一」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。



別添2 管理体制図

